

# サタデープログラムニュース

講座番号 33番 第3部 14:00~15:30

## LIVE! ピアニカの魔術師!!

### ジャッキー・ミッチュリー

1985年大阪生まれ。ジャマイカンの雰囲気漂うも、純粋な音楽を学ぶ。19歳でメジャーアーティストへの楽曲提供をきっかけにプロ活動をスタート。キーボーディストとして活動する傍ら、海外でジャズやロック、レゲエなど様々なジャンルの音楽を学ぶ。同時にピアニカを本格的に始め、熱帯JAZZ楽団ソリストコンテストで最優秀賞受賞・共演をきっかけにピアニカでのプロ活動を開始。

現在では、放送芸術学院専門学校 大阪校で、ピアノ、ソルフェージュ、音楽理論の講師、小学校の芸術鑑賞行事などに積極的に参加し、「ピアニカの魔術師」として子どもに



## 世界で誰もやっていないことをやりたかった!

愛用のピアニカは、税抜き8,700円。プロが使用する楽器としては、びっくりするくらい安い。ピアニカ=鍵盤ハーモニカは、小学校でオルガンやピアノの代用品として、鍵盤を学ぶために使われているというのが、一般的なイメージです。要するにピアニカは本格的な楽器としてはほとんど認知されていないといっても過言ではありません。

そのピアニカをサクスのように首からぶらさげ、両手で演奏するスタイルは衝撃的ですね。世界で誰もやっていない音楽をと考えて、アレンジなどを含めて、いろいろと試行錯誤する中で、みたこともないようなスタイルに。

## 身体と楽器が一体になる楽器・ピアニカ

「グランドピアノでは、楽器を操作するイメージだけど、ピアニカは身体と一体化して、身体で音を奏でるところがいい」とミッチュリーさんは語ります。息づかいも聞こえ、まさ

に楽器と身体が一体化した演奏もすてきです。

## 「ピアニカの魔術師」というネーミングもカッコいい！

ピアニカはヤマハから販売されている鍵盤ハーモニカの商品名。鈴木楽器のものは「メロディオン」。知名度は圧倒的に「ピアニカ」でしょう。

ピアニカの名称をどうしても使いたいと思ったミッチュリーさん。ヤマハに問い合わせをしたところ、ピアニカの名称を使うことは、電話ではあっさり断られてしまいました。しばらくの間、困ったなあと思っていたところに、ヤマハのピアニカ部門の責任者から連絡があり、あなたほどピアニカを愛している人はいないピアニカの名称は自由に使っていいとのことのお言葉！そこで、「ピアニカの魔術師」というすてきな肩書きが生まれました。

## 大阪人なのに、どうしてジャッキー・ミッチュリー??

数年前、ジャマイカを旅したミッチュリーさん。このときはミッチュリーという名前ではありませんでしたが・・・。ジャマイカで、ローリング・ストーンズと一緒に演奏したこともあるというミュージシャンのお宅に遊びに行きました。そこで、彼を待っていたのは、世界から集まったミュージシャンたちのすばらしいセッション。みんなそれぞれ自分の楽器を奏で、即興で演奏しているところに、彼もピアニカで参加。毎日10時間、10日間ずっとそのセッションを楽しみました。この話を聞くだけでも、うらやましいなあ、すてきな時間と空間だなあと思えます。

で、ジャマイカに、ジャッキーミットゥーという名ピアニストがいるのだとか。そして、その師匠的なミュージシャンから、「おまえはミットゥー (mi2) の次にすごいから、ミッチュリーだ。ジャッキー・ミッチュリーだ」と言われたのが由来。ジャマイカでは「3」を「チュリー」と発音するのだとか。

## サタプロでは、明照殿でのL I V Eを予定

当日は、ミッチュリーさんと、パーカッション、ギターの3人の演奏です。誰でも知っている曲から、その時の気持ちから生まれた、そのときだけの即興演奏も。

カッコいい、すてきなL I V Eに阿弥陀様にもきつとよるこんでいただけることと思います。



百聞は一見に如かず！

高校生は今すぐ。中学生は帰宅後、「ピアニカの魔術師」で検索を。カッコいい動画がい  
くつもできます！